

国道1号北勢バイパス 要望書



令和元年 7月

北勢バイパス建設促進期成同盟会

会長 森 智広

四日市商工会議所

会頭 種橋 潤治

要 望 書

平素は、北勢バイパスの整備促進につきまして、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

国においては、防災・減災対策や老朽化した社会インフラ対策など、国土強靱化の推進を重点的に取り組まれております。

私ども同盟会会員市町といたしましても、防災・減災対策や道路施設の老朽化対策など、住民生活の基盤となる安全・安心なまちづくりに積極的に取り組んでいるところです。

四日市市を中心とした北勢地域は、石油化学・半導体・自動車をはじめとした多様な産業が集積し、国際拠点港湾四日市港と高速道路網が相まって、我が国の経済・物流を支える拠点地域となっています。

しかしながら、日常的に発生している国道1号、23号の**渋滞**は、**経済活動の阻害要因**となり、**生活環境の悪化**にもつながっています。

また、平成26年3月に四日市市等の沿岸市町が、南海トラフ地震津波避難対策の特別強化地域の指定を受けており、**防災**の面からも津波浸水被害を受ける恐れのある国道1号、23号に代わる**緊急輸送道路(命の道)**として、北勢バイパスの早期整備が必要です。

一方、北勢バイパスが開通した区間においては、**沿線企業の設備投資や新たな雇用創出などのストック効果**が現れています。さらに、2021年に「三重とわか国体」、「三重とわか大会」が開催されることもあり、地域経済の発展や広域的な道路ネットワークの形成のために、ますます重要性が増しております。また、三重県全体を考えた場合、県内の南北軸として北勢バイパス、鈴鹿四日市道路及び中勢バイパスが共に整備されることで、**県全体としての整備効果も最大限発揮**されます。

よって、北勢バイパスの整備をはじめ、産業活動と住民の安全・安心な生活を支える各種道路整備並びに道路インフラの老朽化対策に必要な予算を確保されるよう右記の通り強く要望いたします。

記

1. 北勢バイパスは、新たな道路ネットワークの構築による経済の好循環を図り、新規企業の進出や企業の設備投資などの産業面のストック効果を更に高めることから、早期全線開通に向けて必要な事業費を確保し、市道日永八郷線～国道477号バイパス間の開通見通しを公表すること。
1. 鈴鹿四日市道路を、令和2年度に新規事業化すること。
1. 道路橋等定期点検結果に基づく予防保全を含む道路の老朽化対策を計画的かつ着実に進めるため、老朽化対策予算の別枠確保を図ること。
1. 地方が必要とする道路整備・管理を長期安定的に進めるため、新たな財源を創設するとともに、道路関係予算総額の拡大及び令和2年度道路関係予算の所要額を確保すること。

北勢バイパス建設促進期成同盟会 会長 森 智広

会員市町	四日市市長	森 智広	鈴鹿市長	末松 則子
	朝日町長	矢野 純男	川越町長	城田 政幸
	菰野町長	柴田 孝之		

四日市商工会議所

会頭 種橋 潤治

北勢バイパスの早期整備について

【事業中区間】

○市道日永八郷線～国道477号バイパス

開通見通しの公表

北勢バイパスが国道477号バイパスを通じて、新名神と早期につながることによって、道路ネットワークが飛躍的に向上

○国道477号バイパス～国道1号(四日市市采女町)

事業促進

○鈴鹿四日市道路(国道1号(四日市市采女町)～中勢バイパス(鈴鹿市稲生町))

令和2年度

三重県内の道路の南北軸を形成(国道23号とダブルネットワーク化)

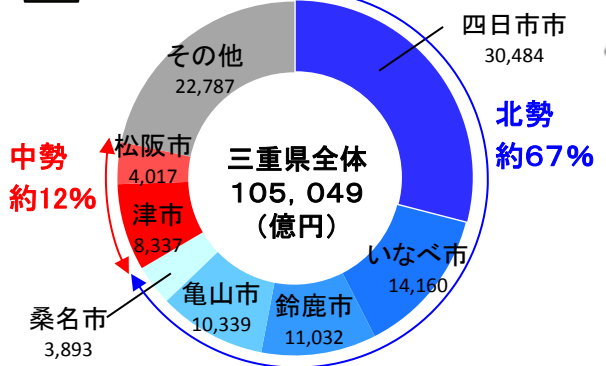
新規事業化



北勢バイパスの早期整備による効果は絶大！

- (1) 三重県の北部(北勢地域)に多くの産業が集積する中で、特に四日市市・鈴鹿市は**産業・物流の拠点地域**。(下記a, 下記bを参照)
 - (2) 沿線に企業(工場)の新規立地や設備投資が進展し、**地域経済の発展や人口の増加等、ストック効果が発現**。(下記C, 下記eを参照)
 - (3) 国道1号、23号の渋滞緩和は、円滑な**産業・物流活動を促進**し、生活環境も向上。
 - (4) 四日市港(国際拠点港湾)の**利用促進、国際競争力の強化**。(下記dを参照)
 - (5) 鈴鹿四日市道路の整備による、北勢バイパスと中勢バイパスの接続は、三重県内の南北主要幹線道路の**ダブルネットワーク形成につながり、三重県全体への波及効果大**。
- ➡ **生産性向上による成長力の強化！**
- (6) 南海トラフ巨大地震による**津波浸水被害が想定**される国道1号、23号に代わる**緊急輸送道路**として機能。
- ➡ **国土強靱化に寄与！**

a H29 三重県市町別製造品出荷額等(億円)



b 東海3県の都市の中で北勢・中勢地域が多数ランクイン

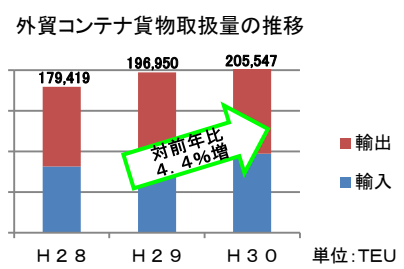
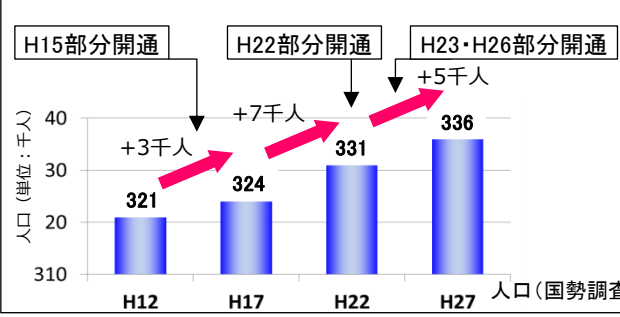
H29 製造品出荷額等の市町ランキング(東海4県)

順位	市	製造品出荷額等
1	豊田市	14兆5,903億円
2	名古屋市	3兆4,904億円
3	四日市市	3兆484億円
4	岡崎市	2兆3,453億円
5	安城市	2兆2,840億円
6	田原市	1兆9,992億円
7	いなべ市	1兆4,160億円
8	鈴鹿市	1兆1,032億円
9	亀山市	1兆339億円
10	津市	8,337億円

e 沿線の企業



C 北勢バイパス整備と人口推移(四日市市、朝日町、川越町)



津波浸水区域(施設なし) 三重県 平成23年版予測
 主要渋滞箇所(17ア) 三重県道路交通渋滞対策推進協議会

北勢バイパス建設促進期成同盟会



SUZUKA

©TEZUKA PRODUCTIONS



KOMONO



YOKKAICHI



ASAHI



KAWAGOE

ひらく つながる みえの未来へ



北勢バイパス